

お題

小学生が大人になっても
高松に帰ってきたくなるようなキャッチコピー

(名前：熊野 雄太)

お題

シャイな30代が
大勢の人の前でも
積極的に発言したくなる
キャッチコピー

(名前：中村 かおり)

お題

県外の人に
疲れを癒しに来てもらう
ためのキャッチコピー

(名前：二川 大地)

お題

都会で働く会社員が
仕事に疲れた時に
高松へ旅したくなるキャッチコピー

(名前：穴吹 英太郎)

お題

外国籍の方が高松の生活で感じたことを
発言したくなるキャッチコピー

(名前：大石 麻未)

お題

文化芸術に興味のない人が
作品を見にくるようなキャッチコピー

(名前：三木 優希)

お題

東京の人に高松の生活感を
自宅で感じてもらえる様なキャッチコピー

(名前：若林 友美)

お題

妊娠中～0才児のママ、パパが
子育て情報を発信したくなるキャッチコピー

(名前：中村 香菜子)

お題

いりびたりたくなる飲食店を
高松につくりたくなるキャッチコピー

(名前：西森 友紀)

お題

大都会でもド田舎でもできない日本全体で見ても
“高松だから出来る人生（ライフスタイル）”に
あこがれちゃうキャッチコピー

（名前：林 憲太郎）

お題

市内で働く単身さんが仕事終わり、
商店街周辺の飲食店で、
ちよい飲みしたくなるキャッチコピー

(名前：松井 佑有)

お題

高松を出たことがない人が
人の目を気にしなくなるキャッチコピー

(名前：宮武 将大)

お題

地元の方々に
今までの人生で行ったことのない個人のお店に
明日にでも行きたくなるキャッチコピー

(名前：湯川 致光)

お題

さぬきうどんとあと1つあれば
高松に旅行に行こうとする人を
高松に旅行に来させるキャッチコピー

(名前：上原 大生)

お題

キャラクター商品が大好きな子どもが
お母さんに高松のごじまん品をおねだりしたく
なるキャッチコピー

お子さんを持つお母さんが
高松の野菜を買いたくなるキャッチコピー

お題

香川の中高年女性が
奥にしまいこんだ漆器を
出して使ってみたくなるキャッチコピー

(名前：齊藤 恭宏)

お題

“農業”が就職したい職業NO1になるような
キャッチコピー

自分の生活ライフに“農業”を
とり入れたくなるようなキャッチコピー

(名前：三好 和博)

お題

県外の温泉好きな人達が、
次の温泉巡り旅で、
塩江を訪れたくなるようなキャッチコピー

(名前：平岡 欣也)

お題

地元で働く20代女性が
「地元こんな所があったんだ！」と
休日に立ち寄りたくなるスポットの
キャッチコピー

(名前：香西 奏恵)

お題

香川漆器を駅・空港・道の駅・マルナカ
で買ってもらうためのキャッチコピー

情報を知らない露面店じゃないお店にフラッと
飲みに来た仕事帰りのサラリーマンが1～2時間
飲みたくなるようなキャッチコピー

(名前：藪下 真司)